

大学院に博士課程(5年)を新設

<金沢学院大学大学院の新構成>

■新設 ■既設

博士課程(3年)

<博士後期課程・ドクターコース(D)>

修士課程(2年)

<博士前期課程・マスターコース(M)>

他大学院
修士資格

文科省認可、17年度から

高度な専門職業人を育成

金沢学院大学大学院の経営情報学研究科経営情報学専攻に博士課程を新設することが、文部科学省の大学設置・学校法人審議会から中山成彬文部科学大臣への答申で認められ、一月末に認可されました。学校法人金沢学院大学では、平成十七年度から博士課程を開始して高度に専門的な職業人の育成を目指すため、学生の募集を開始しました。大学院に博士課程が設置されるのは、北陸三県に本部を置く私立文科系大学では初めてとなります。

新設される博士課程は、既設の修士課程に相当する博士前期課程(二年、入学定員十人)の上に博士後期課程(三年、入学定員四人)を置くつもりです。
自立した研究活動を行い、

博士課程の担当教員
(カッコ内は授業科目)
阿手雅博(経営情報基礎、問題解決システム) 池田勝彦(起業論) 田中晴人(経営情報基礎、経営戦略) 塚本迪三(企業評価) 中村宣一郎(会計システム) 西田英郎(環境評価システム) 根本博(地域経済) 本郷節之(情報通信システム) 宮本匡章(会計情報) 奥井めぐみ(労働経済) 桑野裕昭(ファイジ経営科学) 中島誠一(情報通信システム) 安田忍(経営情報基礎、会計システム)

学院大、学院短大、東高校で一般入試



金沢学院大学美術文化学部の実技試験

金沢学院大学の一般入試A日程は一月二十九、三十日、試験日自由選択制により全国七会場で行われ、受験生が英語、国語、数学、歴史の学科なしし実技試験に臨みました。美術工芸学科の実技では、自画像や静物のテーマに静かに取り組む姿が見られました。



高い倍率となった金沢学院短大食物栄養学科の試験

金沢学院短期大学の一般入試A日程は一月二十八日に本学と富山、福井、新潟の四会場で行われ、国語、英語から一科目を選択する方式で行われました。特に倍率が高くなった食物栄養学科の志願者は、与えられた五十分間をいっぱい使い、真剣な表情で問題に取り組んでいました。



金沢東高校の一次入試に臨む受験生

金沢東高校の一次入試は二月二日、本校をはじめ石川県内七会場で行われました。推薦入学を含む出願者九百九人のうち八百九十四人が受験し、学科や面接に挑みました。合否判定の結果、二月七日に八百四十二人の合格が発表されました。

コンサルタントやアナリストなど豊かな学識を備えた高度な専門職業を目指す人材を育成します。

金沢学院大学大学院経営情報学研究科は、平成十七年度に修士課程(二年、入学定員十人)が開設され、「産業・財政・経営・会計」情報システム・デザイン」の三系列の柱を据えて、税理士など専門性が求められる職業に携わり、地域社会で活躍できる人材を育成してきました。

18日から短大卒業展
金沢学院短期大学生活文化学科生活デザイン専攻の第四回卒業研究展は二月十八日から三日間、金沢市観光会館で開かれます。十九日と二十日のいずれも午後一時半からは隣接の電力プラザ・エルフ金沢ホールでファッションショーがあります。入場無料。

発行・広報室